

チオファネートメチル・マンネブ水和剤 ラビライト水和剤	取扱メーカー： クミカ、日本曹達、琉産 原体メーカー： 日本曹達、大内新興
成分： チオファネートメチル〔ベンズイミダゾール系 PRTR・1種〕…20.0% マンネブ〔有機硫黄 PRTR・1種〕……………50.0%	性状： 淡黄色水和性粉末45 μ m以下 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 対象病害の異なる2種薬剤の配合剤なので、みかん病害の総合的防除ができる。
- 落葉果樹、いも類、ばらの広範囲の病害に効果があり、速効性と残効性がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈みかん〉

- 有効薬剤を混合してあるので、黒点病、そうか病、灰色かび病の他、そばかす病、黄斑病、サビダニ、果実汚染症の防除に効果があり、みかん病害の総合的防除剤である。
- 夏期散布用マシン油乳剤を加用することにより、防除効果が増大する。

〈かき〉

- 炭疽病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病の防除に有効で、かき病害の総合的防除剤である。

【薬効・薬害等の注意】……………

- アルカリ性薬剤及び銅剤との混用はさける。また銅を含む薬剤との連用は薬害のおそれがあるのでさける。これらの薬剤との散布間隔は7日以上あける。
- 適用作物（りんご、なし、ばら）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数	マンネブを含む農 薬の総使用回数
み か ん	灰色かび病 黒点病 そうか病 小黒点病 ミカンサビダニ	500～ 800倍	200～ 700 ℓ	60日前 まで	2回 以内	散布	8回以内 (塗布は3回以内、 散布、空中散布及び 無人航空機散布は 合計5回以内)	2回以内
	黄斑病 そばかす病	500倍						
り ん ご	すす点病 すす斑病 黒点病 炭疽病 うどんこ病 褐斑病 黒星病 斑点落葉病 輪紋病 腐らん病	500～ 600倍		30日前 まで	1回		10回以内 (塗布は3回以内、 灌注は1回以内、 散布は6回以内)	1回
な し	黒星病 黒斑病	500～ 800倍		45日前 まで	3回 以内		11回以内 (塗布は3回以内、休 眠期の散布は1回以 内、灌注は1回以内、 生育期の散布は6回 以内)	3回以内
	輪紋病	500倍			2回 以内		10回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は1回 以内、生育期の散布 は6回以内)	2回以内
か き	炭疽病 うどんこ病 落葉病	500～ 800倍		落弁期まで 但し、 収穫75日 前まで	1回		5回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は1回 以内、生育期の散布 は1回以内)	
ぶ ど う	晩腐病	800～ 1000倍						
ばれいしょ	疫病	400～ 600倍	100～ 300 ℓ	14日前 まで	4回 以内		5回以内 (種いもへの処理は 1回以内)	7回以内
やまのいも	葉渋病 炭疽病	400倍						4回以内
ば ら	黒星病 うどんこ病	500～ 800倍		—	5回 以内		5回以内	8回以内
チューリップ	褐色斑点病 灰色かび病							